

学校教育の質的改善及び学校支援の充実を求める意見書

子供たちの学びを支える教員の不足が深刻になっています。特に小学校の教員不足が深刻で、新年度を迎えても学級担任を担うべき教員が足りず、専科の先生や教頭先生が代役を務めたり、正規教員が不足し、非常勤講師などの非正規教員が年度当初から学級担任を受け持つケースが全国の学校現場で発生しています。

沖縄県教育委員会においては、教員の正規率を改善するため採用人数を増やすなどの施策を推進していますが、特別支援学級数が急激に増えたことで、教員の不足が危惧されます。

本市においては、学習指導要領で示された主体的・対話的で深い学びの実現やGIGAスクール構想等を推進し、児童・生徒の学びの質的転換と自立した学習者の育成を目指して様々な事業を展開しているところです。特に主体的・対話的で深い学びの実現に向けた戦略として示された「教職員の学びと子供の学びは相似形」という概念のもと、教職員のエージェンシーが発揮される環境づくりが子供たちのエージェンシーへとつながり、ひいては学校を取り巻く人々のウェルビーイングにつながるものと考え、教職員の研修の在り方の転換を図り、改善にむけた取組を推進しています。

こうした本市の学校教育の質的改善の取組や学校支援の充実を図るにあたり、さらなる学校教育の充実に向けて、より一層のご支援を賜りたく、下記に掲げる事項について要請します。

記

1. GIGAスクールや特別支援教育等の人材を確保するためにも社会経験のある教員採用枠の拡充、普通校や特別支援学校間における教員の意向調査を実施した上で人事交流の拡大を図るなど、教員採用や人事の在り方について検討を行うこと。
2. 「学びの相似形」概念のもと、教師が主体的、対話的に学び続けていけるような研修の工夫、特別支援教育に係る専門性や実践力の向上を図る研修の充実、GIGAスクール構想推進を担う人材の育成、教員の資質能力向上に係る研修等の充実に努めること。
3. 校内自立支援室の拡充に向けた支援員の増員やスクールソーシャルワーカーの増員並びに専門性を高める研修の充実を図り、不登校等対策に係る学校支援を行うこと。
4. スクールサポートスタッフ配置事業の継続、修学旅行・宿泊学習への養護教諭の業務負担軽減（看護師派遣の予算措置）及び特別支援児童生徒引率対応職員の予算措置の拡充を図り、働き方改革推進に係る学校支援の充実に努めること。
5. NEXT GIGAに向けた端末の共同調達や校務支援システムの統一化に向けた市町村間の調整役を担い教育DX推進を図ること。
6. 医療的ケア児への合理的配慮等に係る支援については、市町村の財政状況によって左右されないよう全県的な課題として県において予算措置の検討を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年12月20日

沖縄県うるま市議会

あて先

沖縄県知事、沖縄県教育委員会教育長